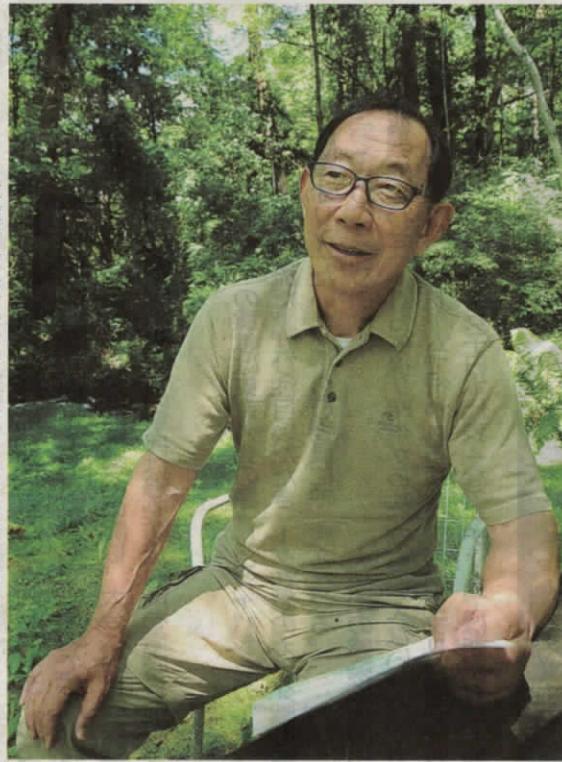


# 学びの場 諏訪に若者集え



諏訪地方の企業経営者や元校長らを中心に今年4月、発足したNPO法人「SUWA次世代の学び推進フォーラム」は、8月から開く公開シンポジウムと、中高生を対象にした「学びのワークショップ」の受講者の募集を始めた。次世代を担う子どもの学びを応援する初の企画だ。

## 経営者らのNPO企画

シンポは8月に2回開催。9日は諏訪市の温泉保養施設「片倉館」で、諏訪清陵高校出身の八巻和彦・早大名誉教授と林久喜・筑波大教授が「次世代を担う若者への期待」について講演する。

と題して対談する。12日は市公共スペース「駅前交流テラスすわつチャオ」で、元文部科学官僚の寺脇研さんが新学習指導要領実施の背景などについて講演する。

ワークショップ（体験型講習会）は地元の社会人らを講師に、8月から11月まで毎月1回、諏訪市などで開催。「ワ

ー長（☎080-5407-8905）、メール（hips@gsu.nmesh.net.jp）。

## 事務局長 北原克彦さんに聞く

NPO法人「SUWA次世代の学び推進フォーラム」の講座は、事務

局長でメディアプロデューサーの北原克彦さん（73）が中心とな

って準備を進めてきた。NPO設立の背景、ワークショップの特徴につ

いて聞いた。

—なぜNPO設立か。

学校の学びは大きな転換期を迎えており、知識を詰め込むだけでは人間知能（AI）やロボットに太刀打ちできない。自ら考える力、課題を解決する力が子どもたちに必要。高校の同級生らに相談して立ち上げることにした。

—事業の特徴は。

身近な話題を分かりやすい切り口で紹介し、子どもたちに興味をもつてもらう内容にする。ワークショッ

## 自ら考え 課題解決する力を

私は自分で問題を見出し、調べて結果を発表する。専門家と一緒にサポートし、学校と連携しながら子どもたちが学ぶモチベーションを下支えしたい。

—子どもたちに身に付けてほしいことは。

私は60歳まで映像制作の仕事をしてきた。企画力の大切さを美感してきた。自分なりに物事を考えられる力を育てることで、生きる力をつけてほしいと思っている。

—今後、行きたいことは。

今夏は新型コロナで見送ったが、小学生や中学生が筑波宇宙センターや国立科学博物館などを訪問する「学びのツアーや」を来年夏には行いたい。本物を見ることが、学びのモチベーションにつなげたい。

## 来月から公開シンポ・中高生向けワークショップ

「国から読む世界情勢」の4講座を設け、定員は各20人とする。12月12日には4講座の受講者が集まり、学習の成果を発表する機会も設ける。